

「保育の現場・職業の魅力向上検討会」意見

保育システム研究所 吉田正幸

《魅力向上に関する私見》

残念ながら第1回会合に出席できませんので、以下の通り意見（私見）を述べさせていただきます。

○魅力向上に関するいくつかの視点

- * ロジックモデル的に捉えた課題の整理
- * 魅力向上の指標例：「離職率の低下」（マイナス要因の低減）
「定着率の向上」（プラス要因の増加）
- * 「いれる」「つなぐ」「もどす」と魅力向上の関係
- * 魅力向上の新たな観点 Ex. 「ノーコンタクトタイム」の確保と活用
- * 保育タイムスタディやICT化などの活用も重要

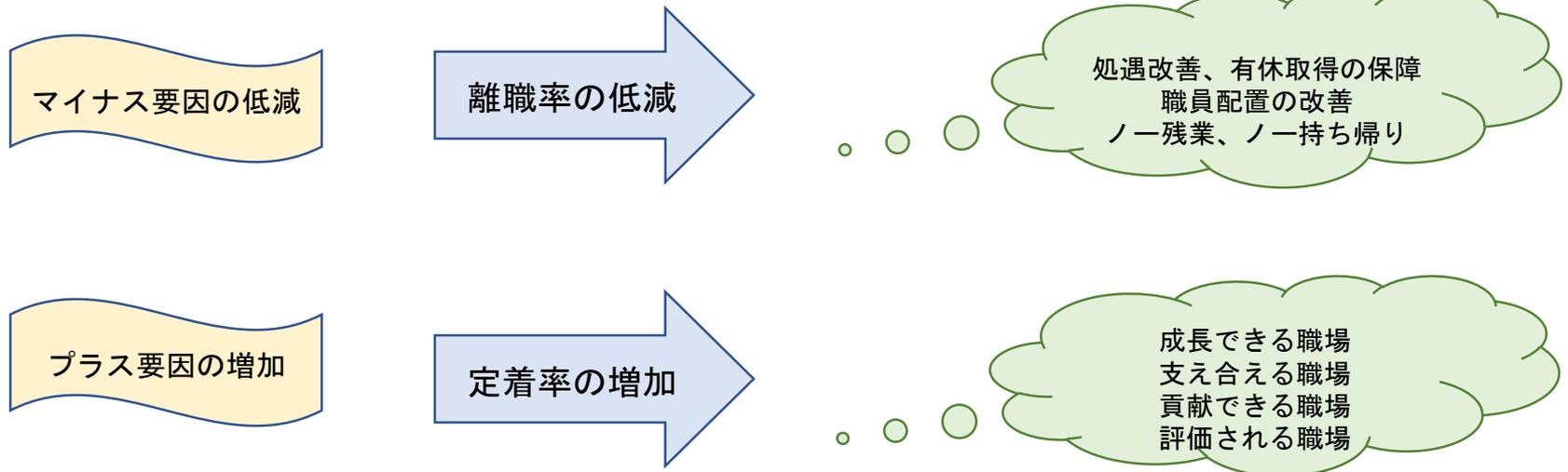
☆ 「大人になったらなりたいもの」アンケート調査（2019年3月8日、第一生命保険）

女の子の第2位「保育園・幼稚園の先生」 ⇒ 現実には人材難 …これを魅力の観点でどう読み解くか？

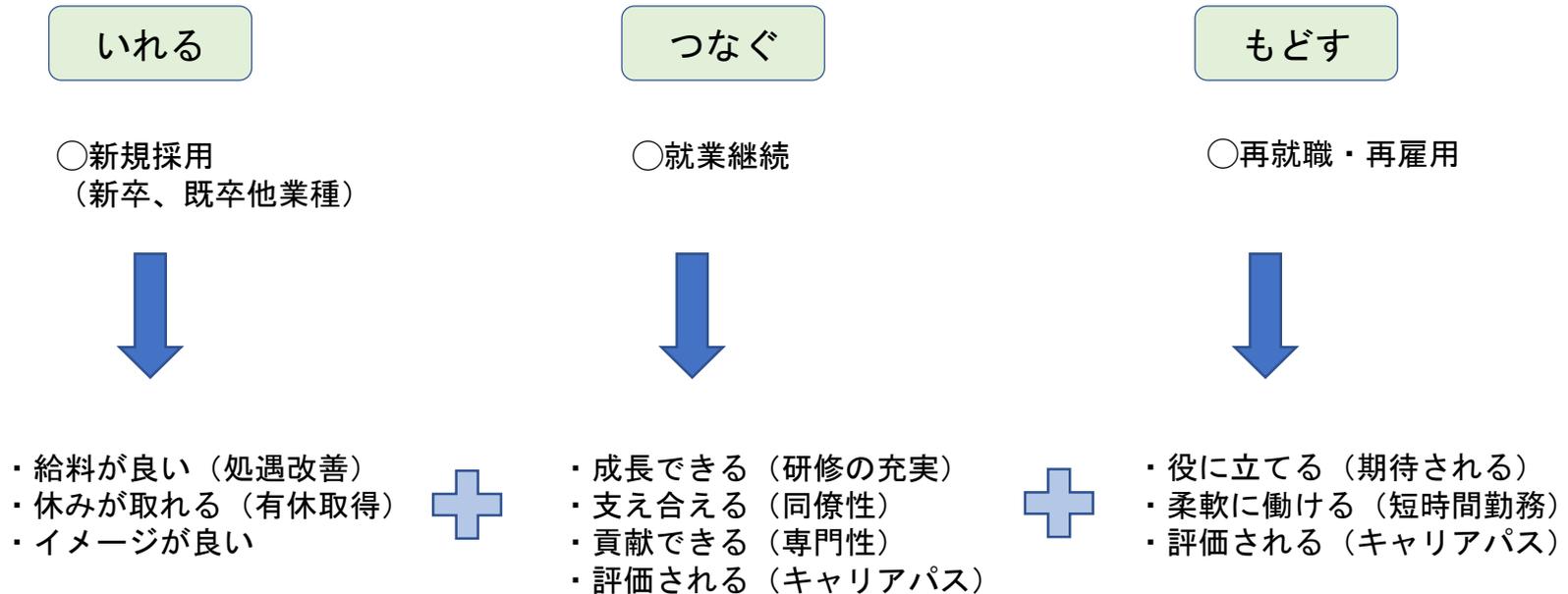
【ロジックモデルから捉えた魅力向上の課題整理】

	例示	指標
インプット	予算、法令など	
アウトプット	処遇改善、労働環境の改善、職員配置改善、研修の充実、ノーコンタクトタイムなど	給与改善状況、有給休暇取得率、離職率・定着率、キャリアアップなど
アウトカム	安定的な人材の確保、保育者の定着、資質の向上など	有効求人倍率、養成校の志願率、平均在職年数、保育者満足度など
インパクト	保育の質の向上、子どもの健やかな育ち	自己評価、第三者評価など

例えば



【「いれる・つなぐ・もどす」と魅力向上】



【もう一つの大切な視点：ノーコンタクトタイム】

- ・ノーコンタクトタイムとは、子どもと直接関わっていないが、保育を豊かにするための重要な時間
Ex. 、保育の振り返り、記録、調べもの、話し合い、打合せ、環境構成の準備、教材づくりなど
- ・ノーコンタクトタイムを確保するためには、業務の棚卸 (省力化、合理化) や職員配置の拡充が必要
- ・そのためには、保育タイムスタディによる業務の見える化や分析、改善策の検討が必要
- ・加えて、ICTの活用による業務の省力化や合理化、高度化などの検討も必要

【参考：「保育者の人材マネジメント」とは】

～人“材”から人“財”へ～

